報告1

認知症施策の実施状況について

〔公開資料〕

令和８年度 第２回大阪市地域包括支援センター運営協議会

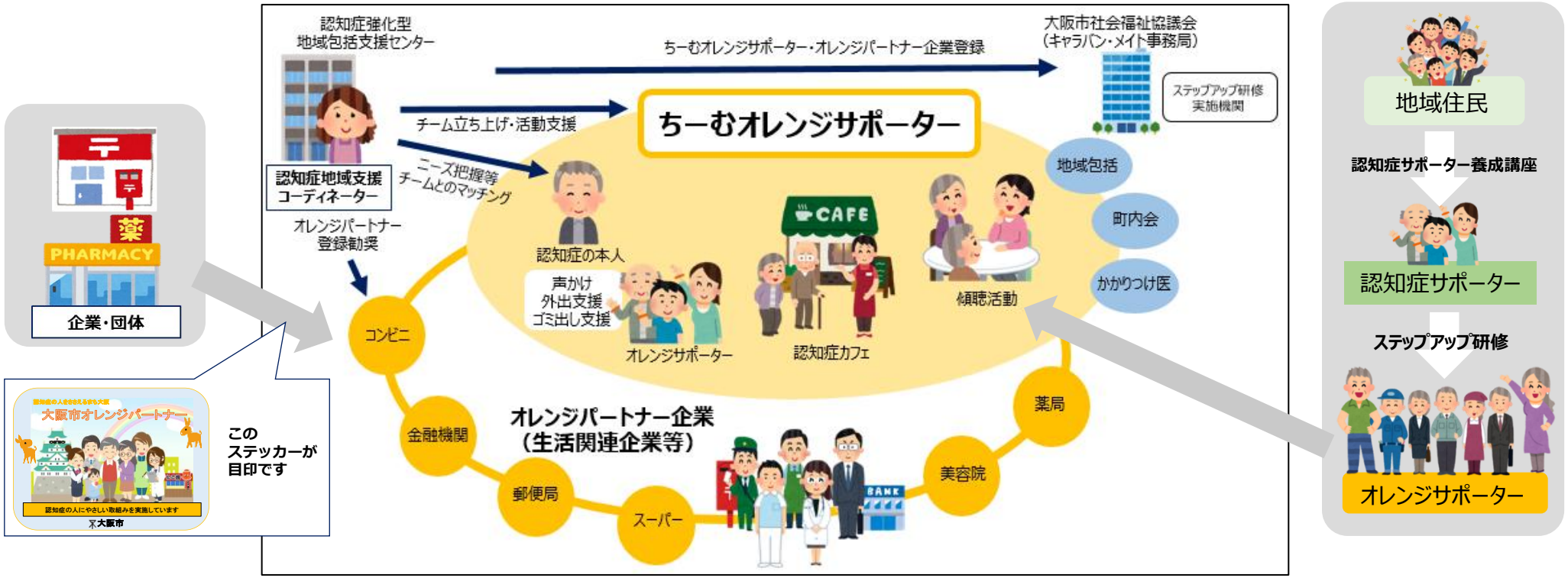
令和8年9月29日

大阪市福祉局 高齢者施策部地域包括ケア推進課

オレンジサポーター地域活動促進事業

事業内容

- 各区の認知症強化型地域包括支援センターにコーディネーターを配置し、認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援を行う「ちーむオレンジサポーター」の立上げを支援する
- 認知症の人にやさしい取組を行う企業・団体を「オレンジパートナー企業」として登録、周知し、地域での支援活動を促進する



ちーむオレンジサポーターの条件

- オレンジサポーターが１人以上いること
- 認知症の人や家族がメンバーとして参加できること
- １回限りや数回だけでなく、継続して活動すること



※ちーむオレンジサポーターには、
チーム登録証、チームバッジ、フラッグを交付します

オレンジサポーター地域活動促進事業

集計中

進捗状況（令和７年度末）

認知症サポーター　（人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
養成数	6,338	9,421	8,344	12,542	11,605	10,336
累計	227,026	236,447	244,791	257,333	268,938	**279,274**

オレンジサポーター　（人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
養成数	63	262	332	543	544	351
累計	63	325	657	1,200	1,744	**2,095**

ちーむオレンジサポーター　（チーム）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
登録数	53	99	184	170	105
累計	53	152	336	507	**612**

○ オレンジサポーターの活動支援（ちーむオレンジサポーター）

・体操・運動（163チーム）



・集いの場の提供（237チーム）



・生活支援（67チーム）



・認知症カフェ（65チーム）



・外出活動（18チーム）



・家族会（15チーム）

・農園活動（14チーム）

・創作活動（7チーム）

オレンジパートナー企業　（か所）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
登録数	635	542	177	189	238	237
累計	734	1,276	1,453	1,642	1,880	**2,117**

○ オレンジパートナー企業の普及

・郵便業（394か所）



・医療機関（520か所）



・金融業（129か所）



・小売業（183か所）



・生活関連サービス業（94か所）



・不動産業（68か所）

・飲食サービス業（89か所）

・保険業（38か所）など

認知症初期集中支援推進事業について

資料 3

1 認知症初期集中支援推進事業における支援の実績

年度別支援件数 （人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
チームが支援した件数	885	1,421	1,412	1,302	1,241	1,177	1,134	992	890	865

2 これまでの経過

認知症初期集中支援チームによる支援件数が減少傾向であることから、令和7年度において、各区の実態把握の取組を実施し、課題の整理と対応策の検討を行った。

3 取組の概要

(1)実施した取組

1. アンケート調査の実施
2. ヒアリング調査の実施
3. 関係者会議参加
4. 実務者会議(市域レベル)での検討

(2)今後の対応等

認知症初期集中支援推進事業にかかる課題・論点と対策・取組として、6つの課題・論点と、それに対する対策・取組を取りまとめ

令和7年度第2回認知症施策部会にて報告

引き続き、課題・論点に基づいて、対策の検討・取組を実施していく

認知症初期集中支援推進事業にかかる課題・論点と対策・取組について

課題・論点	対策・取組の方向性と令和8年度における進捗状況
1 チームの支援件数の減少 推進員の対応件数の増加 (1) 評価指標はこれで良いのか？ （検討を要する評価指標例） ・支援終了時の居場所が在宅である割合が80%以上 ・医療・介護・インフォーマルサービスのいずれかにつながった者の割合90%以上 (2)「チームによる支援は1回限り」なのか？ (3) 令和6年度からのシステム導入の問題点	・支援につながっていない認知症の人を把握し、個々の状況に応じた支援につなぐことが適正に評価できるように評価指標等を検討中。 ・現場の取組内容や支援に係る課題、業務量が適正に把握できるよう、年度内にシステム改修を予定。
2 チーム員会議のあり方 (1) 効果的・効率的なチーム員会議の実施方法に関する情報発信 (2) チーム員医師の体制の充実	・「チーム員会議」をテーマに3区のチーム員医師からの実践報告とディスカッションを4/9に実施。市内の認知症サポート医にも周知の上開催。実践報告を受け、参加者からは自区の取組の見直しを検討したいなど前向きな意見を収受。 ・本研修を踏まえたチーム員会議開催にかかる手引き（追補版）の作成やフォローアップ研修開催を予定。
3 潜在する認知症の人へのアウトリーチ・地域アセスメントの実践を促す支援	・本事業の趣旨や地域アセスメント及びアウトリーチの実施を推進すること等について、改めて周知・啓発を実施。 〇チーム　チーム員研修（4/9・16実施） 〇関係機関　保健師向け研修（4/8実施） 区職員（高齢福祉担当）向け研修（4/22実施） 包括管理者会（6/17実施） ※ 今後各区関係者会議や本事業関連会議などの場でも引き続き実施
4 チームの資質向上・人材育成 (1) 関係者会議の活用 (2) スーパーバイザーの参加・養成 (3) 現場の課題に応じた研修や、区間の交流を通じた連携・知見共有の必要性	・関係者会議にスーパーバイザーや事業主管課が参加し、取組の振り返りや意見交換等を通じたチームの資質向上の推進を開始。 ・研修アンケート等を活用し、現場のニーズに応じた研修を企画し、開催予定。
5 関係機関との円滑な連携や、早期の気付きを促す広報周知啓発	・訪問支援対象者となり得るケースの情報提供や支援時の連携強化を図るため、関係機関や地域の民間団体等に向けた広報を行う予定。
6 きめ細かな施策の推進のため、各区の認知症にかかる課題の把握	・各区において抽出した認知症にかかる地域課題を集約し、課題解決に向けて検討を開始。

認知症初期集中支援推進事業及び関連事項にかかる今後の予定

【凡例】 ◆：開催日時が確定している予定　▭：日程調整中・未確定

年度	令和8年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症施策部会 （計画策定年のため4回開催）			◆（6月29日）	◆（7月15日） 〔三部会合同〕		◆（9月18日）					▭〔三部会合同〕	
SV検討会議	→	→	→	→	◆	→	→	→	→	▭（必要に応じて）	→	→
エリア別会議	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
関係者会議 （各区で年2～4回随時開催）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
研修会・連絡会	◆チーム員向け研修 ・新任研修 ・チーム員会議をテーマとした研修 ◆区職員研修			▭連絡会			▭内容・日程調整中 フォローアップ研修					
システム改修	→ ・改修項目・内容の検討 ・チームとの意見交換 ・システム業者との調整			→ 改修内容確定			→ （システム業者による作業）		▭改修内容説明（連絡会）		▭システム実装	
包括運協・評価部会・実態確認		→ 実態確認		◆市運協	▭評価部会		▭市運協		▭市運協	▭評価部会	▭市運協	
包括管理者会 （毎月第3水開催）	→	→	◆事業趣旨説明	→	→	→	→	→	→	→	→	◆評価基準説明